



### 紀陽情報システム株式会社

紀陽フィナンシャルグループの一員として、紀陽銀行はじめ金融機関向けシステムや、自治体向け総合行政システムの開発／運営を担っています。金融システム分野での高度な専門性を活かし、活動の範囲を全国に拡げています。

本社：和歌山県和歌山市中之島2240番地  
 設立：1985年2月1日  
 資本金：8,000万円  
 従業員数：298名（2013年4月末現在）  
 URL：http://www.k-js.co.jp/

（取材日：2014年1月）

### POINT

1 仮想データベースと QlikViewの組み合わせで 膨大なデータ処理を実現

2 意思決定の時間が劇的に改善 新たな気付きと次の手を打つための活用が可能に

3 QlikViewを活用したシステムを 企業／団体向けソリューションとして 拡販し、新たな事業の柱に

## 銀行の収益分析にQlikView! 散在していた情報を一元管理し、 情報の『見える化』、『使える化』を実現

紀陽銀行向け各種ソリューションの分析ツールとしてQlikViewを採用した紀陽情報システム。業務システムごとに分散していたデータを、仮想データベースで統合。QlikViewを連携させた情報活用基盤をわずか2カ月半で構築し、一元的な情報管理に活用しています。従来不可能だった膨大なデータ処理が可能となり、さらに分析軸の変更や追加も柔軟に行えるなど、経営情報の迅速な提供に貢献しています。

### 課題

### 対策

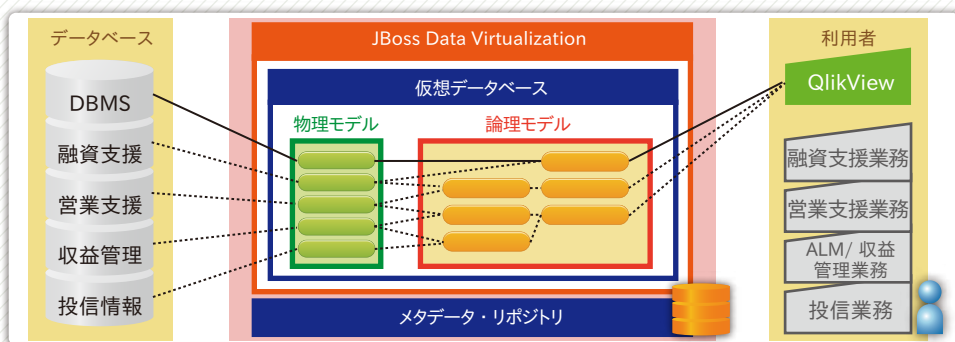
### 効果

- システムの個別最適化によりデータが分散し、システム間でデータ連携ができていなかった
- 抽出したデータをMS-Excel等で繋ぎ合わせる手間と時間が膨大になっていた
- 全明細データではなく、サンプル・データによる分析を余儀なくされていた

- 物理データベースを仮想的に統合し、シングル・ビューを実現
- 膨大なデータを高速に処理するため、連想探索の特徴を評価してQlikViewを採用
- 大量データを元にした分析環境を構築

- 使いにくかった情報が『見える化』でき、『使える化』が可能になった
- すべてのデータを対象にした、収益に関わる仮説検証が可能になった
- 会議の場でQlikViewを用いることにより、意思決定の時間が劇的に短縮された

システム概要  
 業種：システムインテグレータ  
 データソース：JBoss Data Virtualization  
 利用業務：コールセンター、リテール、事務、融資、経営企画など8部門



## QlikView

### システムの個別最適化が進み データが分散 データ分析に大きな手間と時間

紀陽銀行は1895年の設立以来、1世紀以上にわたり「より多くの地域の人々に貢献すること」を目指し、地域社会に密着した営業活動を通じて、業容の拡大と金融サービスの向上に努めています。これまで、業務ニーズに合わせて顧客情報、融資情報、営業情報、経営情報といったシステムをその都度個別に構築していました。そのため、データが分散し、様々な不都合が生じていました。紀陽銀行のシステムを担う紀陽情報システム（以下、KJS）営業本部 企画室 室長の冷水史和氏は、次のように語ります。

**冷水氏** 一番の問題は、システム間でデータ連携ができないことでした。1つのシステムに入力しても、他のシステムには反映されません。顧客を軸に複数のシステムを跨いで横断でデータを検索する場合は、各システムからデータを抜き出し、MS-Excelなどを利用してデータを繋ぎ合わせなければなりません。データ分析に多くの手間と時間が掛かり、使い勝手の悪さが課題でした。



冷水史和氏

この分散したデータを一元的に集約し、各システムが同じデータを参照するようにはできないだろうか、という要望は以前よりKJSに寄せられていました。しかし、物理データベースの統合は、既存システムにかなり手を加えなければならず、膨大なコストと時間が掛かります。その上、各システムのデータが常に稼働している中で同期させるのはほぼ不可能でした。解決策を模索していた時、レッドハットのデータベース仮想化ソフト「JBoss Data Virtualization」を知りました。

JBoss Data Virtualizationなら、各システムの物理データベースをカスタマイズなしで論理的に統合でき、また、ノンプログラミングのため、導入期間の大幅短縮とコスト削減も期待され採用を決定しました。

### インメモリ型のQlikViewを採用 実践的なデモにエンドユーザも驚嘆

当初、紀陽銀行にはデータベース統合とは別に

BIツールの導入を提案していました。各システムには膨大なデータが蓄積しており、その有効活用は紀陽銀行にとって大きな課題でした。商品企画部門のような数百、数千万件ものデータを扱うケースになるとMS-Excelでは処理できず、全件データは諦め、データ量を絞ったサンプルデータでの分析を余儀なくされていたのです。

**冷水氏** 膨大なデータを高速処理できるBIツールとして、インメモリ技術が抜きんでており、実績あるツールはQlikViewだけでした。加えて、ユーザ目線で様々な角度から連想探索できる特徴に強い魅力を感じて、QlikViewの採用を決めました。

当初は、物理データベースから直接QlikViewにデータをロードすることを考えていたと冷水氏は言います。しかし、BIツールは使い始めると、「こんなデータがほしい」、「別のデータも使いたい」という要望が現場から出てくるものです。

**冷水氏** QlikViewと物理データベースを直接繋いでしまうと簡単には変更できません。それならば、仮想化したデータベースとQlikViewを繋ぐのがベストだと考えました。そうすることにより、データベースのテーブル構造の変更も容易で、ユーザはシステムの違いを意識せず自由に分析することができるからです。

QlikViewのメリットを理解してもらうため、JBoss Data Virtualizationと連携したデモを紀陽銀行の各本部で実施。それは、1ヵ月分のATM取引データや設置場所ごとの利用状況など約500万件の実データを使用し、年齢別の顧客を抽出するという実践的なものでした。冷水氏はデモの成果を次のように語ります。

**冷水氏** 2012年11月から翌年1月にかけて8部署で計12回のデモを実施したところ、実データの説得力は大きなものでした。実は、デモ前は500万件ものデータが簡単に処理できるはずがないと思われていたのですが、数秒で処理が終わるのを目の当りにして、驚きの声が上がりました。とても有効なツールであると評価された結果、早く導入して使いたいという期待が高まりました。

### 全明細データを対象にした 仮説検証が可能になり 収益向上に貢献

2013年2月、新システムの構築プロジェクトが

スタート。対象となる8部署を3グループに分けて導入を進めました。2名の開発要員でわずか2.5ヵ月で対象部署全てのシステムをリリースしました。

QlikViewの活用によって、電話営業用の顧客リストのクレンジング作業が、90時間からわずか数十秒に大幅短縮しました。ところが、常務取締役・営業本部長の吉川章氏は、処理時間の短縮はQlikView導入効果の本質ではないと言います。

**吉川氏** 一番の効果は、新たな気付きと次の一手を打つための活用です。経営会議の報告では、役員からのとっさの質問にもその場で対応することもできます。以前は、次の会議までにデータを集めます、という回答しかできなかったことと比べると、意思決定に要する時間が劇的に改善しました。



吉川章氏

冷水氏も、「Googleの検索のように思い付いた仮説を次々に分析できるため、キャンペーンの実施期間中に顧客へのアプローチの仕方を変更するなど、タイムリーな手が打てるようになりました。まさに、使いにくかった情報が『見える化』でき、さらに『使える化』が可能となりました」と効果を語ります。

また、紀陽銀行向けに、銀行業務に即したトレーニングをアシストが実施し、利用部門への浸透を促進しています。

**吉川氏** 今後は、ソーシャルメディアなど非定型データの取り込みや、顧客行動パターンの詳細分析、EBM (Event Based Marketing)、仮想検証などへの利用拡大を検討していますが、そのためにも、アシストさんのサポートを期待しています。

### 導入経験から得たノウハウを事業化 サービスを事業の新たな柱に

KJSでは、今回の導入経験から得たノウハウを、「スマート・ビジネス・データ・サービス (Sbiz@pp)」の名称で、アシストと協業し、金融機関をはじめとした大量データを保有する企業や団体に提案活動を進めていきます。すでに、金融以外のユーザの問い合わせが寄せられるなど、反響は予想以上ということから、Sbiz@ppを新たな事業の柱とすべく、積極的な拡販を図っていく計画です。

お問い合わせは **株式会社アシスト**

URL <http://www.ashisuto.co.jp/product/category/bi/qlikview/> E-Mail [qlikView@ashisuto.co.jp](mailto:qlikView@ashisuto.co.jp)

東 京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル	TEL:03-5276-3653	大 阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	TEL:06-6373-7113
札 幌 〒060-0808 札幌市北区北8条西4-1-1 パストラルビルN8 5F	TEL:011-746-8484	広 島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F	TEL:082-224-6170
仙 台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F	TEL:022-713-5802	福 岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勤筑業通ビル 9F	TEL:092-481-7156
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F	TEL:052-232-8211	沖 縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F	TEL:098-943-2276
金 沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ボルテ金沢 8F	TEL:076-260-4921		